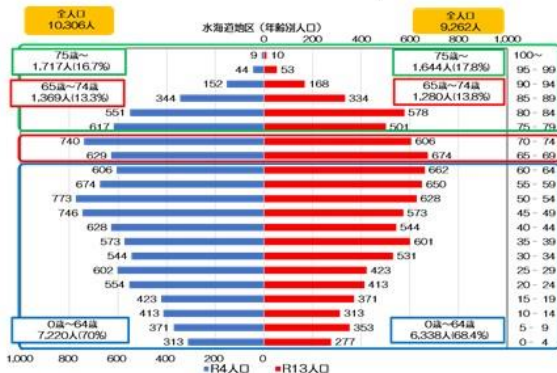


水海道地区の現状

▶平成25年から令和4年までの10年間の人口と世帯数の推移

人口は減少しましたが、一方で世帯数は増加しており、単身世帯の増加、核家族化が進んでいると思われます。



◀令和4年と令和13年の年齢別人口の比較（推定）

65歳～74歳、75歳以上の割合が増加する一方で、0歳～64歳の割合が減少し、さらに若い年齢層になるにつれて人口数が減少する予想となっており、少子高齢化が進むと推測されます。



渡辺 裕一氏
(武蔵野大学教授)

将来、少子高齢化・人口減少に移行していくと推測されますが、このことは悪いことではなく、社会や地域の状況がそうになっていくということです。それに伴って、地域で今まで出来ていたことが出来なくなったりと、地域活動も変わっていくので、皆さんで地域の今後を考えていきましょう。

第1回講演会・意見交換会の様子や参加者の感想

40代～80代まで
25名が参加！



- ・多方面の方と会話ができてよかった。
- ・困ったこと、改善したいことの見聞交換ができた。
- ・案だけでなく実行へ。
- ・続けることが大切かと思いました。

など

第1回意見交換会の参加者からの意見はこちら！

第1回意見交換会の内容、資料はこちら↓



第2回水海道地区意見交換会

子育て世代も必見！

子どもからお年寄りまでが 住みやすい地域にするために

2023年6月11日(日) 13時～15時

初参加の方大歓迎♡

常総市役所 本庁舎1階 市民ホール（水海道諏訪町3222-3）

対象 水海道地区にお住まいの方が関係のある方ならどなたでもOK！（小中学生、高校生、大学生の参加もお待ちしております）

申込み QRコードからお申込みいただくか、問い合わせ先にご連絡ください（当日参加もOK!）

お申込みはこちらから↓



アドバイザー



渡辺 裕一氏
(武蔵野大学人間科学部
社会福祉学科教授)

話し合いの内容

- ①第1回意見交換会の確認・意見の追加
(意見は内側に記載してあります)
- ②地域の関心ごとの順位付け
- ③関心ごとに対する取り組みしやすいことの順位付け

友達と一緒に参加しましょう！

お子様もOK！
おもちゃもあるわよ

無料よ！

第1回意見交換会の参加者からの意見はこちら！


主催
問い合わせ先

常総市 市民生活部 市民と共に考える課
Tel 0297-23-2111 (代表)

1. 「この地域で暮らすあなたにとって地域で起きているどのようなことに関心がありますか？」


1

- ・町内活動より個人生活が優先
- ・共同住宅住人との交わり
- ・町内に連絡網がない
- ・ふれあいできる場所が少ない
- ・災害弱者の避難計画ができていない
- ・広域避難の周知徹底がされていない
- ・避難所の整備
- ・避難所で温かい食事を
- ・防災無線が聞こえない
- ・防災ラジオの全世帯配布
- ・空き家の防犯防災火災問題
- ・空き家増しかも相談なし
- ・空き家問題（朽ち果てている）
- ・海水道一高への夜間高校復活
- ・歴史探訪地図ナシ
- ・道の駅にキャンピングカーステーション
- ・狭い道がとて面白い
- ・小さな神社などが魅力的
- ・自然豊か！をアピールする
- ・観光資源が少ない
- ・循環バス（買い物・病院）
- ・広報が全世帯に配布されない
- ・市役所や病院でクレジットカードが使えない
- ・公共施設でWiFiがつながらない
- ・映画館がない
- ・駅のロータリーにトイレが無い





2

- ・子供会の継続が難しい
- ・少子化で子供が減少 学級減
- ・子供会活動の不安
- ・三世代交流する場所がない
- ・三世代交流がコロナで減少
- ・核家族世帯とのコミュニケーション
- ・高齢者世帯のみの食事作り
- ・買い物に行くのが大変になった
- ・高齢者の買い物をする場所がない
- ・移動スーパー荷物が多く帰りが大変
- ・周りの人が高齢化している
- ・障子貼りが出来なくなった
- ・庭の草刈りが大変
- ・コロナで対面会話が難しい
- ・話し相手がない
- ・近所の人顔を見ていない
- ・地域で学べるサークルがない
- ・交流の場がない
- ・シルバー会への入会があまりない
- ・一人暮らしでさみしい
- ・一人暮らしの人が増えた
- ・活気がなく寂しい
- ・免許返納後の病院への通院
- ・病院の駐車場がたりない
- ・空き家が増えている
- ・犬ネコのフン問題
- ・役所で使う用語を前向きな言葉
- ・「シルバー」違う呼び方が良い
- ・市の課の名前工夫してほしい
- ・お祭りは賑わっている




3

- ・一人暮らしの方が多くなっている
- ・一人暮らしの高齢の方が増えている
- ・高齢者が多い
- ・人間関係が希薄になった
- ・若い人がよそへ出て暮らしている
- ・子供が少ない
- ・子供が減ってお神輿が上がらない
- ・班の人数が減っている
- ・町内の役を引き受ける人がいない
- ・町内会の役員が高齢でできない
- ・運転免許返納後の足
- ・買い物に不慣れ
- ・お店がなくなった
- ・ゴミを指定外の所に出す
- ・ゴミの分別が出来てない
- ・空き家・空き地が多い
- ・壊れそうな空き家
- ・世帯はあるが住んでいない
- ・道路側溝のつまり
- ・災害時には避難所が足りない
- ・鬼怒川の決壊が心配



4

- ・住民の高齢化
- ・子供が少なくなった
- ・近くに子供が居ない
- ・子供会に入らない やめてしまう
- ・町内会 班の人数が多すぎて班長さんが大変（特に集金広報配付）
- ・班総会に半くらくらしが集まらなかった
- ・各種役員のなり手がいない
- ・班長を辞退する人が多い
- ・消防車が入るのに困難な住宅街
- ・道路と歩道の段差がありすぎてベビーカー・シルバーカーが大変
- ・近所に救急車が2回来た
- ・ハローワークの駐車場が混んでいる
- ・視覚障がい者向け福祉講座を聞きたい
- ・高齢社会における聞こえの問題
- ・補聴器が聞こえにくく困っている
- ・福祉タクシーの使い勝手が悪い（予約）
- ・市民の福祉遅れている





5

- ・地域の方が優しくて日中いなくても安心
- ・日中は仕事で人が少ない
- ・店が無くなった
- ・買い物に遠い
- ・班の高齢化 班長のなり手
- ・班長負担
- ・町内会費
- ・子供会の活動低下 加入者減
- ・地域の会に若い20代~30代の参加が難しい
- ・祭りが復活しそう
- ・集まれる場所が少ない
- ・文化活動施設の老朽化
- ・市外への就職（大学生）
- ・ゴミの出し方が悪い
- ・防災組織の未達成
- ・防犯について
- ・空き家
- ・文化財の知名度の低さ
- ・将来の常盤市への考え方


5

- ・地域の方が優しくて日中いなくても安心
- ・日中は仕事で人が少ない
- ・店が無くなった
- ・買い物に遠い
- ・班の高齢化 班長のなり手
- ・班長負担
- ・町内会費
- ・子供会の活動低下 加入者減
- ・地域の会に若い20代~30代の参加が難しい
- ・祭りが復活しそう
- ・集まれる場所が少ない
- ・文化活動施設の老朽化
- ・市外への就職（大学生）
- ・ゴミの出し方が悪い
- ・防災組織の未達成
- ・防犯について
- ・空き家
- ・文化財の知名度の低さ
- ・将来の常盤市への考え方

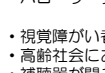
5

- ・地域の方が優しくて日中いなくても安心
- ・日中は仕事で人が少ない
- ・店が無くなった
- ・買い物に遠い
- ・班の高齢化 班長のなり手
- ・班長負担
- ・町内会費
- ・子供会の活動低下 加入者減
- ・地域の会に若い20代~30代の参加が難しい
- ・祭りが復活しそう
- ・集まれる場所が少ない
- ・文化活動施設の老朽化
- ・市外への就職（大学生）
- ・ゴミの出し方が悪い
- ・防災組織の未達成
- ・防犯について
- ・空き家
- ・文化財の知名度の低さ
- ・将来の常盤市への考え方



5



- ・地域の方が優しくて日中いなくても安心
- ・日中は仕事で人が少ない
- ・店が無くなった
- ・買い物に遠い
- ・班の高齢化 班長のなり手
- ・班長負担
- ・町内会費
- ・子供会の活動低下 加入者減
- ・地域の会に若い20代~30代の参加が難しい
- ・祭りが復活しそう
- ・集まれる場所が少ない
- ・文化活動施設の老朽化
- ・市外への就職（大学生）
- ・ゴミの出し方が悪い
- ・防災組織の未達成
- ・防犯について
- ・空き家
- ・文化財の知名度の低さ
- ・将来の常盤市への考え方



2. 「あなたが暮らしたいまちはどんなまちですか？」



1

- ・安心安全な生活が送れる
- ・生活が便利
- ・個人が尊重される
- ・子供と老人と一緒に会話ができ笑顔があるまち
- ・老人が心配なく楽しく暮らせるまち
- ・公園で遊ぶ子供が多くなってほしい
- ・安全な遊び場作り
- ・声かけを大事にすること
- ・子育てしやすいまちづくり
- ・産前産後の巡回（コミュニケーション作り）
- ・空き家を利用してコミュニティを作る
- ・市民に必要な情報が伝わるまち
- ・広報紙をわかりやすく
- ・行政と密な関係
- ・文化施設が充実したまち
- ・医療の充実（支援が充実）したまち
- ・買い物、病院に簡単に行けるまち
- ・防災情報を確実に得る
- ・緊急一斉送信で安否確認が出来るまち
- ・避難所が充実している
- ・災害時に助け合える
- ・ゴミが少なくゴミがあっても気づいた人が拾う
- ・祭りが盛んなまち
- ・バリアフリーの道路
- ・買い物行くときにバリアフリー




2

- ・集まれる場所がある
- ・そこに行けば会話ができる場がある
- ・憩いの場所がある
- ・みんなが孤立しないまち
- ・子供たちの声がする場所
- ・市民が楽しく過ごせる公園
- ・子育て支援の会
- ・リーダー指導者の育成やスキルアップ
- ・洋服などが買えるスーパー
- ・病院の駐車場の確保
- ・地元で希望する医療を受けられる
- ・地域医療
- ・安心していける病院がある
- ・介護予防教室への男性参加
- ・立場の弱い方たちが声を上げやすいまち
- ・ボランティアで助け合える地域
- ・相談できる場所がある
- ・障がい者支援の会
- ・買い物サービス（届けてくれる）
- ・交通の便が心配のないまち
- ・町内を回り市内に繋げてくれるバス
- ・犬猫の害のない地域

3

- ・安心して子育てができるまち
- ・商店街がある
- ・老後住みやすいまち
- ・独居老人でも安心して生活できるまち
- ・お年寄りがゆっくり歩けるまち
- ・交通弱者とにならないまち
- ・市内交通があるまち
- ・バス、タクシーなどが、自由な時間に使える
- ・店まで遠いので、動くお店（車）が増えればよい
- ・買い物難民にならないまち
- ・災害に強いまち
- ・防災のあるまち
- ・活動する人は女性が多い
- ・もっと男性も参加してみたら
- ・参加しやすい場所づくりが必要（おしゃべりの場）
- ・農村地域なのでこれを残していきたい
- ・今の自然を残していく
- ・昔ながらの農法を生かして
- ・花火大会を生かして何かを
- ・自然の食品がある
- ・自然がある中での公園があるまち
- ・街の良いところをだせるまち
- ・昔からのつながりを大切に
- ・子どもたちが楽しめる場所の提供
- ・子どもたちが安心して暮らせるまち
- ・地域活動に参加しやすいまち
- ・公園が多いまち
- ・人が集まるまち
- ・交通の便が良いまち（高速バス等）
- ・病気になるでも安心して暮らせる
- ・高齢になっても自宅で暮らせるように
- ・介護予防できる場所が多い
- ・高齢者の資格取得に対する維持
- ・病院通いが大変 車代など

4

- ・移住したいまち
- ・市民との対話・意見を尊重するまち
- ・認知度が高いまち
- ・使い勝手考えたコミュニティバスの運用
- ・子ども・高齢者に親切なまち
- ・子どもたちが近くでキャッチボール、サッカー等出来る場所がある
- ・安心してあいさつ出来る
- ・不登校の子どもたちが行きやすい場所作り
- ・防災に強いまち
- ・自然災害に強いまち（避難所計画が十分にできている）
- ・誰もが安心安全に暮らせるまち
- ・環境汚染のないまち きれいな川
- ・交通の便を心配することがない
- ・免許返納しても不便にならない
- ・買い物に困らない
- ・業務スーパーを作してほしい
- ・市民病院 筆談で書いてほしい
- ・聴覚障がい者教養講座をやってほしい
- ・ヒヤリンググループ体験会
- ・安心安全なまち
- ・市の政策に参加するとポイントがつく

